

特集 ステップアップ！福井の観光地

北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の県内全線開通など、100年に一度のチャンスを迎えようとしている福井県。核となる観光拠点を充実するとともに、より長く県内に滞在し、満足してもらえるよう関係市町や観光事業者などと協力し、魅力ある観光地づくりを目指していきます。



レインボーライン山頂公園

世界が目にする三方五湖

三方五湖周辺は、美しい自然景観や食、年縞や伝統漁法などの歴史文化を生かした観光地づくりにより、関西圏からだけでなく首都圏からの大きな人の流れをさらに生み出すことが期待されています。

福井県、美浜町、若狭町、観光団体などで構成する「三方五湖エリア全体協議会」では、このエリアが目指す姿や取り組み事業をまとめた「福井県三方五湖エリアステップアッププログラム」を今年3月に策定。北陸新幹線が敦賀まで開業する2023年春までをめどに官民が一体となり、三方五湖エリアの魅力をさらに高める取り組みが行われています。

ハクールジャパンアワード受賞

レインボーライン(三方五湖有料道路)

の山頂公園にある「絶景 天空の足湯」は、今年5月、世界各国の有識者や観光関係者など幅広いジャンルの審査員100人が「クール(かっこいい)」と選定する「クールジャパンアワード2019」を受賞。さらに今年度は、「三方五湖に浮かぶ天空テラス」をコンセプトに、天候を気にすることなくゆっくりと眺望を楽しめる屋根つきの展望スペースや山頂カフェなどのリニューアル工事を進めています。

新たな日本遺産に認定

今年5月、「四〇〇年の歴史の扉を開ける旅」石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井」が日本遺産に認定されました。中世・戦国期の越前では、一乗谷や白山平泉寺で大量の石を用いて計画

的に作られた都市が誕生。その加工技術は、近世以降、笏石を用いた福井の城下町や河川の地形を生かした勝山の城下町のまちづくりにも活用されました。現存する石を通して、当時の日本人と石との共生の歴史や石づくり文化を体感できます。

さらに、日本最大の戦国城下町跡である一乗谷朝倉氏遺跡のミュージアム化に向け、核となる新たな博物館を整備し、遺跡全体の価値と魅力を高めていきます。

福井県関連の日本遺産は、鯖街道、北前船、六古窯の一つである越前焼に続いて4件目。それぞれのストーリーを国内外に広く発信し、広域観光につなげていきます。

「進化」を続ける恐竜博物館

2000年の開館以来、入館者数を伸ばし、今年3月に通算1000万人を突破した恐竜博物館。

4月には、恐竜博物館のミュージアムショップとレストランをリニューアルオープン。ミュージアムショップには、国内最大級となる約200種類の恐竜フィギュアやさまざまな恐竜関連の書籍を取りそろえました。レストランでは、恐竜をテーマにしたプレートメニューを充実させた

ほか、入店時間を携帯電話に知らせるシステムを新たに導入。来館者がより満足し、楽しめるようになりました。

「恐竜ブランド」を発信

今年、子どもにも人気のスーパー戦隊シリーズ「騎士竜戦隊リュウソウジャー」の映画やテレビドラマに恐竜博物館が登場するなど、全国に向けて恐竜ブランドを積極的にPRしています。

また、来年は開館20周年を迎えることから、来年7月に横浜市で開催する「ヨコハマ恐竜展2020」に向けた準備や「かいつゾロリ」などの人気キャラクターとコラボしたオリジナル恐竜アニメーション映画の制作などを進めています。

今後、外国人観光客などの増加が見込まれることから、国内外からの観光誘客の拡大に向け、受け入れ環境の整備にさらに取り組んでいきます。



リニューアルしたレストラン「DINO CAFE」



恐竜博物館 特別展



一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)のイメージ



ねんこう 年縞博物館 特別企画展

①観光誘客課(三方五湖)
☎0776・20・0380 FAX 20・0381
②文化課(日本遺産)
☎0776・20・0572 FAX 20・0661
③恐竜博物館
☎0779・88・0001 FAX 88・8700